

## 3 月 23 日は世界気象デー

今年のテーマは、「気候への対応のための気候情報」  
“Climate Knowledge for Climate Action”

### 世界気象デーとは

世界気象機関（WMO）は、1950 年（昭和 25 年）3 月 23 日に世界気象機関条約が発効したことを記念し、毎年 3 月 23 日を世界気象デーとしてキャンペーンテーマを設け、気象業務への国際的な理解の促進に努めています。

今年のキャンペーンテーマは、  
「気候への対応のための気候情報<sup>※</sup>」です。

※原文は“Climate Knowledge for Climate Action”

### 今年のキャンペーンテーマについて

近年、天気予報をはじめとする気象情報は毎日の生活の一部として、今日のような服装にすべきなのかといった選択から、激しい気象現象の際に安全に過ごすためにはどうすれば良いかといった判断に至るまで、ご利用いただいています。より具体的な利用例の一つとして、気象に大きく影響を受ける農業分野における、その日やその週の作業の決定といったものが挙げられます。

季節予報に代表される気候情報は、気候に影響を受けやすい分野のリスクの軽減等、戦略的な長期計画の策定に更に役立つ可能性を秘めています。気候情報をさらにご活用いただくため、気象庁ではその精度の向上に努めています。

また、世界的に気候情報を利用した気候リスクの軽減に向けた動きが活発化する中、気象庁においても産業での気候情報の利用促進に向けた取り組みを強化しており、昨年度にはアパレル・ファッション産業分野における気候情報を活用した気候リスク管理技術に関する調査を実施し、気象庁ホームページ「気象情報を活用して気候の影響を軽減してみませんか？」

(<http://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/index.html>) にて調査結果等を公開しています。

WMO はこのキャンペーンのテーマに沿ってウェブページを公開しています  
(<http://www.wmo.int/worldmetday/>)。

#### 世界気象機関 (World Meteorological Organization : WMO) の概要

設立目的 気象業務に関する国際的な調整・標準化・改善や、気象情報  
の交換促進

設立 1950 年 (昭和 25 年) 3 月 23 日

事務局所在地 スイス・ジュネーブ

加盟構成員 185 か国・6 地域  
(我が国は 1953 年 (昭和 28 年) に加盟)

ホームページ <http://www.wmo.int/>



WMO ビル (スイス・ジュネーブ)

問い合わせ先： 総務部企画課国際室

電話： 03-3212-8341 (内線 2267)